

平成18年度

タウンミーティング  
「市長と語る」

の

記 録

八王子市 総合政策部 広聴広報室

# 目 次

## はじめに

1. テーマ .....	1
2. 要望等項目別件数 .....	1
3. 各会場の実績 .....	2
4. 所管別内容	
(1) 所管別件数一覧表 .....	2
(2) 所管別件名一覧表 .....	3
5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管	
中央地域 (市役所本庁舎) .....	7
西南部地域 (東浅川保健福祉センター) .....	10
東部地域 (由木中央市民センター) .....	13
西部地域 (元八王子市民センター) .....	18
東南部地域 (由井市民センター) .....	22
北部地域 (石川市民センター) .....	26
6. 過去の提案等取り組み状況 .....	30
7. 会場配布資料 .....	37

## はじめに

市長が各地域に出向いて、市民の皆様から直接、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする“タウンミーティング「市長と語る」”も、今年で7年目を迎えました。

今、タウンミーティングは、市長による市政報告とともに、参加された市民の皆さんからのご提案や、テーマに沿った地域での先進的な活動事例を直接報告していただくなど、市民と行政が一緒にまちづくりを考える機会として、「住民参加型」のミーティングを展開しています。

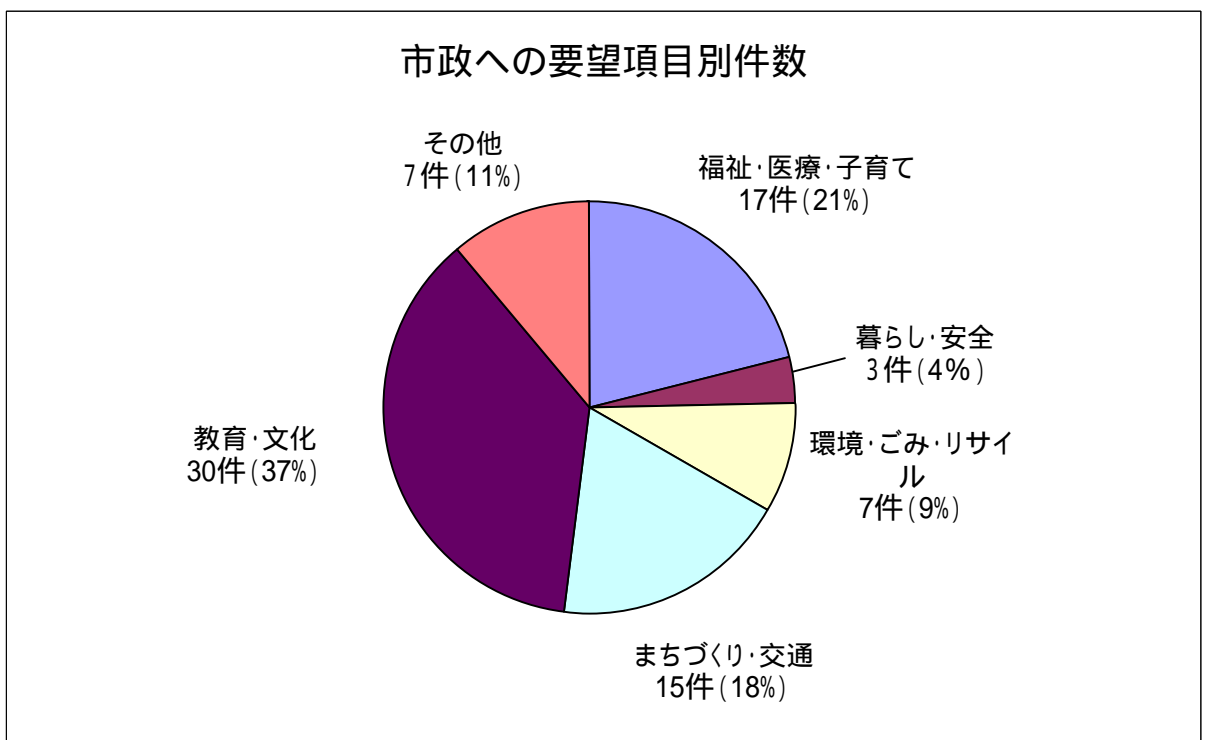
さて、少子高齢化社会の到来、団塊の世代の退職及び地域回帰、介護保険制度の改正など、社会を取り巻く環境は著しく変化しています。その中で、市民一人ひとりが元気に活動し生活していくことは、魅力あふれた地域社会の形成が図られるとともに、健全な市政運営のためにも大変重要なことです。

そこで、今回は「育てよう健康のまち八王子 ~いきいき暮らせるまちをめざして~」をテーマに開催し、一人ひとりの健康に対する取組みや地域で一体となった健康活動など、市長にご提案をいただきました。

1. テーマ 育てよう健康のまち八王子～いきいき暮らせるまちをめざして～

2. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月13日	市役所本庁舎	中央	本庁	0	1	2	1	4	2	10
5月20日	東浅川保健福祉センター	西南部	浅川 横山 館	4	0	0	1	2	1	8
5月27日	由木中央市民センター	東部	由木 由木 東南 大沢	5	1	0	1	8	4	19
6月3日	元八王子市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	2	1	4	5	4	0	16
6月24日	由井市民センター	東南部	由井 北野	4	0	1	2	5	2	14
7月1日	石川市民センター	北部	加住 石川	2	0	0	5	7	0	14
合計				17	3	7	15	30	9	81



### 3. 各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月13日	市役所本庁舎	中央	本庁	99	7	10
5月20日	東浅川保健福祉センター	西南部	浅川 横山 館	93	5	8
5月27日	由木中央市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	107	10	19
6月3日	元八王子市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	101	8	16
6月24日	由井市民センター	東南部	由井 北野	103	12	14
7月1日	石川市民センター	北部	加住 石川	116	8	14
			合計	619	50	81

### 4. 所管別内容

#### (1) 所管別件数一覧表

部名	件数	部名	件数
総合政策部	8	産業振興部	3
行政経営部	1	環境部	9
市民活動推進部	5	まちづくり計画部	7
総務部	1	まちなみ整備部	5
生活安全部	1	道路事業部	10
健康福祉部	20	学校教育部	11
こども家庭部	4	生涯学習スポーツ部	21

## (2) 所管別件名一覧表

総合政策部		8件
発言番号	発言項目	開催日
7	フォトン・ベルトについて	5月13日
8	市長へのはがきについて	5月13日
16	地域の特区構想について	5月20日
22	市民を活用する行政について	5月27日
31	多摩ニュータウン内公共料金の統一について	5月27日
37	事務所の拠点化計画について	5月27日
61	傍聴人の質問について	6月24日
64	自助努力について	6月24日
行政経営部		1件
発言番号	発言項目	開催日
23	職員の情報活用について	5月27日
市民活動推進部		5件
発言番号	発言項目	開催日
4	JICA八王子国際センターについて	5月13日
12	地域の縦関係の確立について	5月20日
20	地域住民が利用しやすい市民センターについて	5月27日
39	食を通じた健康について(報告)	6月3日
76	JICA八王子国際センター閉館について	7月1日
総務部		1件
発言番号	発言項目	開催日
23	職員の情報活用について	5月27日
生活安全部		1件
発言番号	発言項目	開催日
10	ハザードマップについて	5月13日
健康福祉部		20件
発言番号	発言項目	開催日
1	トリム体操を通じての健康活動について(報告)	5月13日
2	自分自身でつくる健康について(報告)	5月13日
14	ウォーキング道路の整備と充実について	5月20日
15	公立病院の設置について	5月20日

17	浅川地区社協について	5月20日
18	長房地区の高齢化対策について	5月20日
19	散策・グランドゴルフ・輪投げについて	5月27日
22	市民を活用する行政について	5月27日
27	手話通訳派遣の費用負担について	5月27日
28	手話通訳養成事業について	5月27日
29	大横福祉センターの利用について	5月27日
30	ボランティアセンターの改善について	5月27日
39	食を通じた健康について	6月3日
44	喫煙の規制等について	6月3日
52	保護司の活動場所について	6月3日
56	食生活と健康について	6月24日
57	グループホームについて	6月24日
59	公立病院の必要性について	6月24日
71	身近な健歩道について	7月1日
80	健康体操について	7月1日

#### こども家庭部

4件

発言番号	発言項目	開催日
12	地域の縦関係の確立について	5月20日
21	子どもたちの居場所の確保について	5月27日
53	パチンコ店駐車場への指導について	6月3日
65	青少年対策委員への報奨金について	6月24日

#### 産業振興部

3件

発言番号	発言項目	開催日
19	散策・グランドゴルフ・輪投げについて(報告)	5月27日
39	食を通じた健康について(報告)	6月3日
53	パチンコ店駐車場への指導について	6月3日

#### 環境部

9件

発言番号	発言項目	開催日
6	湧水池の確保について	5月13日
9	緑の確保について	5月13日
40	産廃処理施設について	6月3日
43	屋上緑化について	6月3日
44	喫煙の規制等について	6月3日
45	喫煙のステッカーを貼ったらどうか	6月3日

60	近隣の迷惑行為について	6月24日
63	ポイ捨て防止の教育について	6月24日
72	あったかホールのプール無料開放日について	7月1日

**まちづくり計画部** 7件

発言番号	発言項目	開催日
14	ウォーキング道路の整備と充実について	5月20日
41	道路の拡幅について	6月3日
42	散歩道の整備について	6月3日
46	道の駅の周知について	6月3日
67	みなみ野に図書館を設置して	6月24日
77	道路の渋滞について	7月1日
79	バス停について	7月1日

**まちなみ整備部** 5件

発言番号	発言項目	開催日
5	中野西地区区画整理事業について	5月13日
42	散歩道の整備について	6月3日
50	音楽活動の場所について	6月3日
58	プレイパークについて	6月24日
66	公園のボール禁止について	6月24日

**道路事業部** 10件

発言番号	発言項目	開催日
14	ウォーキング道路の整備と充実について	5月20日
32	交差点の排水について	5月27日
41	道路の拡幅について	6月3日
42	散歩道の整備について	6月3日
51	横川住宅横の道路について	6月3日
73	はちバス路線について	7月1日
74	はちバスの運行について	7月1日
75	地域住民の赤道確保について	7月1日
77	道路の渋滞について	7月1日
79	バス停について	7月1日

**学校教育部** 11件

発言番号	発言項目	開催日
3	中学校のクラブ活動について	5月13日



12	地域の縦関係の確立について	5月20日
21	子どもたちの居場所の確保について	5月27日
24	小学校の環境整備について	5月27日
25	中学校給食について	5月27日
33	子どものための放送について	5月27日
55	子どもたちとの交流について	6月24日
63	ポイ捨て防止の教育について	6月24日
69	学校開放について	7月1日
70	学校警備について	7月1日
81	小学校のトイレの改修について	7月1日

### 生涯学習スポーツ部

21件

発言番号	発言項目	開催日
1	トリム体操を通じての健康活動について(報告)	5月13日
2	自分自身でつくる健康について(報告)	5月13日
11	ソフトボール大会を通じての健康づくりについて(報告)	5月20日
13	総合型地域スポーツクラブについて	5月20日
14	ウォーキング道路の整備と充実について	5月20日
19	散策・グランドゴルフ・輪投げについて(報告)	5月27日
26	八王子かるたについて	5月27日
34	上柚木公園にプールと体育館を造って	5月27日
35	大塚公園のプールについて	5月27日
36	活動の実践について	5月27日
38	トリム健康体操について(報告)	6月3日
47	ネオテニスの普及について	6月3日
48	市の指導力について	6月3日
49	スケートボード場の設置について	6月3日
54	体力づくりについて(報告)	6月24日
62	郷土資料館の建替えについて	6月24日
67	みなみ野に図書館を設置して	6月24日
68	第八地区スポーツクラブについて(報告)	7月1日
69	学校開放について	7月1日
71	身近な健歩道について	7月1日
78	プール利用者の水着について	7月1日

## 5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

(発言者敬称略)

### 【中央地区】

平成 18 年 5 月 13 日(市役所本庁舎)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
1	<p>【トリム体操を通じての健康活動について】</p> <p>トリム体操に関わりを持ってから、25 年になる。合言葉は、いつでも、どこでも、だれにでも。体に柔軟性、持久力、筋力等を養いながら生活習慣病、腰痛、肩こりの予防、リハビリに、また、ストレスの解消に心と体のバランスを保つために、運動の苦手な人もやろうじゃないかということで始めた。市内には多くのサークルがあり、皆さんそれぞれ活躍して健康管理に努め、仲間づくり、コミュニケーションづくりもとても大事に行っている。中高年が元気になって、そして支えるような時代が来たなというふうなことを実感している。八王子が育てたトリム体操を、これからもますます伸ばして発展していけたらと常日ごろ思い、継続は力なりということで日々活動している。</p> <p>(宮城 安子)</p>	生涯学習 スポーツ部  健康福祉部
2	<p>【自分自身でつくる健康について】</p> <p>私は 24 歳のとき、マラソンの合宿中に不慮の事故で輸血をした。運動をしていれば大丈夫だよということで、マラソンのトレーニングを行った。病気なんかを恐れず立ち向かって、今は、マラソン大会に出るのが楽しみでやっている。始めるのとやめるのは、簡単である。しかし、継続というのが非常に大切だと思う。普通の人でも歩くことが一番の基本なので、それをやればある程度、悪い病気は逃げて行くのではないかなと、私は自負している。健康は、お金もかけずにできる宝だと思っている。</p> <p>(田中 禎之)</p>	生涯学習 スポーツ部  健康福祉部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
3	<p>【中学校のクラブ活動について】</p> <p>中学テニス部活動の外部指導員を 10 年来続けている。テニスを教えるよりも、躰を教えているようなところもある。顧問がいなくなるとクラブ活動がなくなるような異常さは、放置しておいてよいものかと思う。文部科学省、東京都でも進めている地域社会でのスポーツ活動は私の 40 年来のテーマであり、定年後の元気な老人力を大いに活用し、地域において三世代が交流できる場が実現できればと願っている。</p> <p>(浅田 実)</p>	<p>八王子は大学や専門学校がたくさんあるので、学生の力も借りたり、指導をしていただいたり、そんなことを試みているが、十分ではない。今度、東京都の教育委員会が、部活は教育の一環だということを明文化した。都立学校の管理運営に関する規則を改正し、部活動の項目を新たに盛り込むということになったので、状況が変わってくるのではないかと考えている。私も、教育委員会のバックアップをしていきたいと考えている。</p>	学校教育部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
4	<p>【JICA 八王子国際センターについて】</p> <p>ジャイカの国際交流センターが、来年の3月で閉鎖になってしまうとのことだが、その後どうなるかも全然わからない。閉鎖された後、それを市のほうからでも借りることができれば、そこにテニスコートなどもあるので、地域社会のスポーツ活動の拠点の一つにできればいいと思う。</p> <p>(浅田 実)</p>	<p>閉鎖後引き取るということになると、一定のお金が必要。今、財政的な余裕はないので、交渉するとなると、無償で譲渡しないかということになる。まずそれを国が承諾をするかどうかという問題と、施設の生かし方の問題。どう生かしていくかということも、いろいろ課題もある。検討はしていくが、どうなるかということは今申し上げられるような段階ではない。</p>	市民活動 推進部
5	<p>【中野西地区区画整理事業について】</p> <p>中野西地区区画整理事業は、八王子で最大の区画整理事業だが、清水川を全部暗渠にしてしまうという計画になっている。要望・・・8号公園を、当初の予定どおり親水公園にお願いしたい。要望・・・9号街区公園を、貯水を兼ねた湧水公園にしたい。要望・・・第九小学校の前を流れている部分の水路を、開渠にすることは何ら障害が生じない。かえって子どもたちの自然観察や、また情操教育には最適な場所だと思ふ。要望・・・山田の森の下の公園は、はけから水が滲出し非常にきれいなところ。ここだけを公園で確保しても、この上が宅地化されてしまうと、はけから出ている水が出なくなってしまう恐れがある。</p> <p>(梶原 久幸)</p>	<p>今までは、基本的に区画整理の形というのは大体決まっていた。例えば、水路は暗渠にして土地を有効に使うとかというふうに、それを基本的なものでやっていた。これからは、そうではないと思う。環境、あるいは自然というようなものに、もっと重きを置いて考えなくてはいけないと思う。せっかく川が流れているのだから、それを単純に暗渠化するのではなくして、可能な限り残していくという、これは大事なことだと思ふ。そういう考え方で進める。</p>	まちなみ 整備部
6	<p>【湧水池の確保について】</p> <p>清水川の源流の湧水池があり、周りに雑木林がある。これ以上その雑木林がなくならないように、何とか手がうてないものか。そうしないと、せっかくの湧水池が死んでしまうというふうに思ふ。</p> <p>(梶原 久幸)</p>	<p>八王子には幾つか湧水池があるが、だんだん水が枯れてしまったというのが多い。当然、これは周りが宅地化をされて雨水等が浸透しなくなってきているというようなこともある。例えば、横川の湧水池は、その周辺用地を市が買い取り湧水の復活をさせようと、取り組みもしている。清水川の源流になっている湧水池も、早急に調査をする。</p>	環境部

【中央地域】

平成 18 年 5 月 13 日(市役所本庁舎)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
7	<p>【フォトン・ベルトについて】</p> <p>フォトン・ベルトは、銀河系の中の光子と光子がぶつかる時にできる輪。その影響で、自然災害や人の心まで変わってきている。それに関して本もあるなので、読んでほしい。</p> <p>(串田 耕一)</p>	<p>銀河系云々というのは、そういうものの考え方、見方をする方もいると思うが、これはなかなか簡単には理解はできないと思う。</p>	総合政策部
8	<p>【市長へのはがきについて】</p> <p>市長へのはがきを出しているが、本当に市長が目を通してしているのか。また、回答を確認しているか伺いたい。</p> <p>(佐々木 敬)</p>	<p>内容にもよるが、要望とか質問というのは、メールもそうだが、市長へのはがきも目を通してしている。寄せられる質問や要望は千差万別であり、回答はその内容によって確認をしている。</p>	総合政策部
9	<p>【緑の確保について】</p> <p>八王子市は、丘陵が見えて、すごく癒されていて、とてもいいまちだと思うが、相続が起きたときに、買い取って市のもとするような形にしないと、どんどん丘陵がなくなってしまうのではないかと不安である。他市を見ると、丘陵なのか家の固まりなのかかわからない。ああいう姿にはならないように、緑の公募債や何かでも結構なので、ぜひ残していただきたい。</p> <p>(諏訪 祥子)</p>	<p>今、条例だけでは十分ではない。相続が発生するとやむを得ない。調整区域ならともかく、市街化区域だと第三者の手に渡って開発されるということがあるから、最終的に緑の保全をするのであれば、公有地化をしないとだめ。それにはかなりのお金も必要。将来の八王子市民に評価をしていただけるような、そういう施策の一つだろうと思うので、いろいろ工夫をしながら、力を入れていく。</p>	環境部
10	<p>【ハザードマップについて】</p> <p>去年の浸水想定区域図なんかを見ると、浸水が想定されている区域というのが相当浅川周辺にある。都の管轄河川というのが非常に八王子も多いわけだが、ハザードマップというのを八王子市も早く作って、まちづくりにぜひ生かしていただきたい。</p> <p>(諏訪 祥子)</p>	<p>八王子は、浅川を中心にして 17 の河川が市内を流れているので、これは十分に備えていかなければいけないことの一つ。ハザードマップも今準備している。できるだけ早い時期に、これを作る。十分な備えをしていきたいと思っている。</p>	生活安全部

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
11	<p>【ソフトボール大会を通じての健康づくりについて】</p> <p>浅川地区では、32年目を迎えた町会対抗ソフトボール大会、第50回を迎えたOBソフトボール大会、8年目を迎えたソフトボールを楽しむ会がある。延べ人員としたら、15町会、相当の人数が巣立っていただいて、なおかつ83歳の方までがまだ現役で活動している。また、町会に帰るとみんな町会の祭りだとか運動会、すべてこの地区大会のソフトボールの部員が中心となって、諸行事に携わり大きな力を発揮している。小中学校を利用してのスポーツも盛んに行われており、今後もみんなで力を合わせて進んでいく。</p> <p>(野口 宏)</p>	生涯学習 スポーツ部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
12	<p>【地域の縦関係の確立について】</p> <p>小学校から高齢者を一本の線で結び、それぞれが助け合い、一つの行事に取り組むという、そんな関係を作っていきたい。子どもたちも大人に褒められれば嬉しい、高齢者も子どもにあいさつをされれば嬉しい。とても心が和み、それもひとつの健康だと思う。最近、子ども会への参加がすごく少なくなっている。町会を通じて、もしくは教育委員会のほうから学校を通して、地区に子ども会があるなら加入を勧めてもらいたい。こういういいことがあるから、ぜひ参加してやってみようよということをお願いしたい。</p> <p>(網野 竹文)</p>	<p>子どもから高齢者まで、その交流が深まることにより、地域の安全にもつながっていくので、大変いいことだと思う。今のほうでは児童館を活用してもらおうということで、高校生まで可能とした。これを期待している。子ども会は、最近では市子連に入っているところも少なくなっている。子どもが地域で少なくなり、組織化がだんだん薄れてきているようだが、町会の皆さんにもお願いをし、余りなくならないよう努力をする。</p>	学校教育部  こども家庭部  市民活動推進部
13	<p>【総合型地域スポーツクラブについて】</p> <p>浅川地区では地域総合型スポーツクラブというものが、学校施設開放を中心に設立目前である。ところが、このスポーツクラブで何をしたらいいのか、我々全然わからない。市に行って聞くには、誰かが半日仕事を休むようになり、それでは続かなくなる。携わってくれる職員を、1年間担当制で派遣してほしい。</p> <p>(網野 竹文)</p>	<p>総合型スポーツクラブのことに、なかなか受け入れていただけない地域もあつたりして苦労している面もある。理解をしていただくための努力を、もう少ししなくてはいけないと思う。皆さんもお仕事をされておられるわけだから、夜集まっていたときに職員を派遣し、いろいろな意見を聞かせていただいたり、市の考え方を伝える、そういう仕組みをつくる。</p>	生涯学習 スポーツ部

【西南部地域】

平成 18 年 5 月 20 日(東浅川保健福祉センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
14	<p>【ウォーキング道路の整備と充実について】</p> <p>ウォーキングは、若い人でもお年寄りでも気軽にできるということで、スポーツの基本的なことだと思う。毎日ウォーキングをすると、生活習慣病の防止になり、外に出ることは健康上、精神衛生上も非常によいと思う。</p> <p>ウォーキング道路は現在もあるが、サイクリングロードと兼用。改めて、いつでも楽しく、ゆっくり安心して歩ける我々のウォーキング道路、散歩道路といったことを考えていただきたい。(横沢 勝弥)</p>	<p>健康の基本は歩くことだと思う。安全に歩ける道路を整備することは、大事なことだと思っているが、健康づくりというのは基本的には市民の皆さん一人ひとりの問題。行政は、その健康づくりが取り組みやすい環境を作っていくことが、仕事だというふうに思っている。サイクリングロードの、第一期整備が完成するが、歩く方ももちろんいい。自転車だけでなく、歩くだけでもない。サイクリングロードというネーミングがいけないのかなという感じもするが、考えていきたいと思う。</p>	<p>まちづくり 計画部</p> <p>生涯学習 スポーツ部</p> <p>道路事業部</p> <p>健康福祉部</p>
15	<p>【公立病院の設置について】</p> <p>八王子小児病院がなくなるということは、非常に大きな問題だと思う。小児病院がなくなるとすれば、八王子市立病院を考えてみてもいいのではないか。目的別の病院債みたいなものでも市民から募るなど、資金等少し検討していただければ、今後の何十年か先の課題として、非常に大きなポイントになるのではないか。</p> <p>(佐々木 武磨)</p>	<p>小児病院は、府中にセンターを作ることには決まっている。なくなった後をどうカバーするか東京都と協議をしている。今、開業医の先生方、東海大と医療センターでローテーションを組み、小児医療を行っているが、キャパシティを超えている。小児科医を、どう国が育てていくか大きな課題だろうと思う。新たに、市立病院を造っていく時代ではない。大学病院をバックアップし、開業医の先生方との連携をきちんと取るようにするほうが、市民のためにもプラスになると確信している。</p>	<p>健康福祉部</p>
16	<p>【地域の特区構想について】</p> <p>八王子市は市長の発案で、国の施策の中の特区で教育特区を取った。逆に市から地域に、例えば、何々地区のウォーキング特区など、特区構想を提案させたらどうか。そうすれば地域の連帯の中から、地域にあった一つの構想が出てくると思う。市も、地域に合わせた取り組みができると思う。</p> <p>(佐々木 武磨)</p>	<p>地域で特徴的なことをやっているの、これをよその地域でもやったらどうか。八王子市内で、そういうPRをどういうふうにしていくかと受け止めた。地域の特性というものは、やっぱり生かすべきだと思う。これだけ広い八王子なので、それぞれの地域の特色を出していくということではないか。</p>	<p>総合政策部</p>

【西南部地域】

平成 18 年 5 月 20 日(東浅川保健福祉センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
17	<p>【浅川地区社協について】</p> <p>福祉の拠点というのは、やっぱり住民たちが作っていく。地区社協は、そういう福祉活動の拠点であるべきだと思う。10年経っても地区社協ができないのは、地域の問題があるんだろうと思う。各町会単位で考えず、ブロック的な考え方の中から地区社協的な発想をとった上で、子どもから老人まで、そういう健康を考える拠点として考えたらどうか。</p> <p>(佐々木 武磨)</p>	<p>地区の社会福祉協議会は、他の地区にはできていない。この地区社協というのも、本来だったらもっと広がらなくてはいけないというのは、課題としては受け止めている。でも、なかなかこれそういう空気にはならない。雰囲気はできない。浅川地区は素晴らしいと思うので、充実させてください。</p>	健康福祉部
18	<p>【長房地区の高齢化対策について】</p> <p>長房地区は、非常に高齢化が進んでおり、高齢化に対する特別なこれからの対応が必要になるのではないかと。我々も地域の人といろいろやってはいるが、それだけではもう間に合わない。2人に1人が65歳になると、老々介護で大変な状況になるので、早めに手を打って、長房地区を特別な地域として見ていただきたい。</p> <p>(森 秀三)</p>	<p>いわゆる高齢化が進んでいる地域に対して、高齢者に対する施策というのは、元気な高齢者をつくることなど、いろいろ考えていかなければいけないと思う。しかし、高齢化を防いだり鈍化させたりすることは、なかなか難しいと思う。</p>	健康福祉部

【東部地域】

平成 18 年 5 月 27 日(由木中央市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
19	<p>【散策・グランドゴルフ・輪投げについて】</p> <p>散策を、新緑の美しい時季に行っている。住んでいる丘陵地帯を 15 人から 20 人ぐらゐのグループを作って、年輪を重ねた樹木、また素朴な草木の名前を覚えながら歩く。また、生活に潤いを与えてくれる身近な緑で、森林浴を楽しんでいる。グランドゴルフは、全体をやさしいコースにして、体の不自由な人も一緒にプレーを楽しんでいる。輪投げは初めてやるスポーツなので、手軽にできるなと思っている。全員で一生懸命練習をして、大会で優勝できるように頑張ってやりたいと思っている。</p> <p>(池田 登)</p>	<p>生涯学習スポーツ部</p> <p>健康福祉部</p> <p>産業振興部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
20	<p>【地域住民が利用しやすい市民センターについて】</p> <p>近くの市民センターは、他地域の人、それから大学生が体育室の全面使用をすることが非常に多く、地域住民が使いにくくなっている。仕事を持っていたりすると、どうしても土曜日、日曜日に使いたい。学生も、よその地域の人も、そういう日に使いたいため重なることがあるので、当該地域の住民が使えることを優先的に考える対策をお願いしたい。</p> <p>(林 道男)</p>	<p>差をつけて申し込みをさせることは、現実には難しいと思う。基本的には住民協議会の皆さんに自主的に、地域性を十分勘案をしていただき、責任持った運営をしていただくということが基本になっているので、十分に協議をしていただき、何かいい方法があるならば検討していただくということも、方法の一つではないかと思う。</p>	<p>市民活動推進部</p>
21	<p>【子どもたちの居場所の確保について】</p> <p>中学生、高校生ぐらゐまでを含めた児童の居場所を確保してあげたい。例えば、小学校の空き教室。児童館で対応ができるようになったが、それともう一つ同じような教室を設置したらどうか。その高学年の子たちが自由に遊べる場として、ある程度の運用基準を設け、自分たちの範囲の中でその空き教室を運用していく。子どもたちの健全育成に役立てるような、空き教室の利用も考えていただきたい。</p> <p>(林 道男)</p>	<p>子どもたちの居場所づくり、これは確かに大事なことだと思う。児童館を今年の 4 月から、ゼロ歳から 18 歳まで使えるようにし、開館時間の延長も含めて使い方の改善をした。やはり、子どもたちの居場所というのは、一定の必要性というのを感じている。児童館の活用の状況というようなものも検証しながら、これからどういう方法がいいのか、考えていかなければいけないと思っている。</p>	<p>こども家庭部</p> <p>学校教育部</p>



【東部地域】

平成 18 年 5 月 27 日(由木中央市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
22	<p>【市民を活用する行政について】</p> <p>市民を活用するような行政であってほしい。また、財政難とかの問題ではなく、市民がどう動けるか、行政がどうフォローするかという部分、それをしてほしいなというふうに思う。障害福祉に関わっているが、健康的に活動するのにお金はかからないと思う。</p> <p>(鈴木 亨)</p>	<p>これからのまちづくりは、いろんな面で市民の皆さんと行政との協働というのが、もうこれは主流にならなくてはいけないというふうに思っている。市民の皆さんの知恵というものをどう生かすかというのは、これから大事なことだと思う。それぞれの分野でご活動いただいている皆さんのお力を、これからもお貸しいたいて、一緒になって頑張っていきたいと思っている。</p>	<p>総合政策部</p> <p>健康福祉部</p>
23	<p>【職員の情報活用について】</p> <p>行政というのは、はっきりどこも縦割りである。例えば福祉と環境保全、農林、これらが手を結んだらいろんなことができると思う。財政の問題じゃない。また、市の職員の情報量が少なすぎる。情報をいっぱい持っているのは市役所であり、それをどう活用するかというところを、職員の人たちに考えてほしい。</p> <p>(鈴木 亨)</p>	<p>縦割りは、役所の一番悪いところ。それは一番の課題だと思っている。情報を共有できる体制を、どう作っていくかがこれからの役所のあり方だと思う。組織を作るにしても、意識改革を進めているし、関連のある部署というのは、みんなが関心を持つように、これからも努力をしていきたい。</p>	<p>行政経営部</p> <p>総務部</p>
24	<p>【小学校の環境整備について】</p> <p>由木西小の隣のグラウンドでサッカーをするが、学校との間が夜間真っ暗。市街地の学校ではないので、安全対策上、照明設置をお願いしたい。また、フェンスは破損し、大きな穴が開いており改善してほしい。里山もあり、大切な市の財産だと思うので、市民のため子どもたちのため安全対策をしてほしい。</p> <p>(木下 操)</p>	<p>暗くて見えないようなことがあれば、市として考えなければならないと思う。トイレを開放しているのであれば、安全に使えるなければならないと思うので、実態を調査し対応する。フェンスは、古い学校では施設が十分でないところもあると思う。危険性があるならば、優先して対応しなければならない。それぞれの具体例で解決するよう努力する。</p>	<p>学校教育部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
25	<p>【中学校給食について】</p> <p>今、スクールランチの利用率が余り高くない。1食400円ということだが、これだと利用率が少なく買わないのではないか。スクールランチのメニューを見ると、すごくバランスよく取れているものがある。市の負担が増えると思うが、利用率を上げるため250円程度にし、スクールランチが給食というのは可能ではないか。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>スクールランチは、内容はいいと思うが喫食率は落ちている。ただ、わざわざお弁当をやめさせて、スクールランチを食べなさいと言う必要もないと思う。問題は、家庭でお弁当を持って来られない事情のある人を、どうカバーをしていくかということ。お話はよく理解できるので、研究課題になると思う。</p>	学校教育部
26	<p>【八王子かるたについて】</p> <p>八王子かるたをサタデースクールで去年やったが、とてもおもしろいと言われた。まだ皆さんご存知ではないのかなということなので、かるた大会とか催し、その目標に向けてこれを広めていただきたい。声を出しての暗唱は、腹筋とか鍛えられる。健康にこれでつなげていきたいと思う。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>八王子かるたは、八王子の歴史とか文化とかというようなものが、非常に上手に歌い込まれている。子どもたちに自分のふるさとをよく知っていただくということは、大事なことだと思う。そういう一つの手段としても、このかるたはいいと思うので、機会を見て普及に努めていきたい。</p>	生涯学習スポーツ部
27	<p>【手話通訳派遣の費用負担について】</p> <p>手話通訳派遣、養成にかかわる費用を各地で見直している。聴覚障害者自身が手話通訳に係る費用を払わなくてはならないという状況が各地で出ている。聴覚障害者高齢者のサービス、どうなるのか非常に不安な状態である。引き続き通訳保障をしていただきたい。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>障害者にも自立を促し、それを支援していくという趣旨で、障害者自立支援法というのができた。皆さんのお気持ちはよくわかる。原則1割の定率負担とするというふうに法律で定められ、これを無視するというわけにはいかないが、原則を踏まえながら、今後、検討していきたいと思う。</p>	健康福祉部
28	<p>【手話通訳養成事業について】</p> <p>手話講習会が始まって以来、25年経ち、延べ10万人以上になっている。その数字は、市民と聴覚障害者のコミュニケーション、心が開かれたというバロメーターになっていると思う。手話通訳をできるというだけでなく、聴覚障害者を理解してもらう意味においても、この普及を続けていただきたい。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>手話通訳者養成講座については、大変重要なことだと思っている。障害者同士のコミュニケーション、障害者と健常者とのコミュニケーションというものを向上させるためには、これは非常に大事なことだというふうに思っている。責任を持って引き続き継続をしていきたい。</p>	健康福祉部

【東部地域】

平成 18 年 5 月 27 日（由木中央市民センター）

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
29	<p>【大横福祉センターの利用について】</p> <p>運動の一つの拠点として、市から大横町の福祉センターの場所を借りている。問題は、その事務所には利用時間の制限がある。そのため、なかなか活動がスムーズにいかない。制限をはずし、もっと時間的に開放していただけないか。（宮本 一郎）</p>	<p>大横福祉センターには、地域医療推進課が入っている。個人情報保管されているということもあり、慎重にしないといけない。しかし、皆さんの活動の場、交流の場というのが必要なことも承知をしているので、土曜日の使用を前提として検討をする。</p>	健康福祉部
30	<p>【ボランティアセンターの改善について】</p> <p>非常にお世話になっているボランティアセンターが、プレハブ住宅の状態である。足を踏むと、音が大きく響いているのがよくわかる。何とか鉄筋の建物にならないか。健康的な楽しい活動ができるよう、ぜひお願いしたい。（宮本 一郎）</p>	<p>ボランティアセンターの鉄筋化については、今お返事はできない。今後もう少し高い次元から全体の施設計画というのを考え、そのときに、どういうところを使っていたか検討していく。</p>	健康福祉部
31	<p>【多摩ニュータウン内の公共料金の統一について】</p> <p>多摩のプールに行っている。以前、市長がニュータウン計画の中で、公共料金は大体一律にするというような話になっていた。もう3年経っているが、まだ一向に実現されていない。（小林 啓一）</p>	<p>原則的には、広域行政ということをして前提にして、お互いに多少の負担増というのが場合によっては出てくるかもわからないが、できるだけ話し合いをして、市境があるから、そこに近い人は不利だとか有利だとかないように努力する。</p>	総合政策部
32	<p>【交差点の排水について】</p> <p>越野の都道と市道の交差点の排水が悪い。水が溜まって流れない。法律や規則どおりになっていない。コンクリートにはなっているが、ぐちゃぐちゃである。（小林 啓一）</p>	<p>早速現場を担当に見させて、都道でも市道でも解決するよう努力する。</p>	道路事業部
33	<p>【子どものための放送について】</p> <p>低学年が帰るときに無線で放送していたが、苦情があってやめたと聞いた。地元では、放送があったら外へ出て、子どもの顔を見て次のところに送るというような方法を取っている。今後も続けてほしい。（小林 啓一）</p>	<p>毎回放送でやらなければだめというのは、かえってマイナスの部分が出てくる。毎回、それをやったらうるさいと言う人も出てくる。慣れもある。子どもの安全は、地域でも努力していただきたい。今、音楽を流しているが、できることはみんなで努力をしていきたい。</p>	学校教育部

【東部地域】

平成 18 年 5 月 27 日(由木中央市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
34	<p>【上柚木公園にプールと体育館を造って】 上柚木公園にプールと体育館を造ってほしい。学生は、本当に運動する場がなく市民センターを使用している。このニュータウンでは由木の人は犠牲を払っており、その犠牲に対して市の答えは今のところない。体育館を、上柚木公園に建てるのは市の義務だと思う。 (伊東 瑛)</p>	<p>地形的に見て、あの場所に体育施設を造ると、多大なお金がかかるとの財政的な理由と、当時は土地の問題等があり難しいということだった。これは地域の皆さんのご要望でもあると思うので、ぜひ前向きな検討課題にさせていただきたい。</p>	生涯学習 スポーツ部
35	<p>【大塚公園のプールについて】 大塚公園にプールがあり毎年行くが、歩くところのタイルが剥げてしまい、焼けた石がくっついて熱い。財源がなくてと言われるが、歩くところなので直していただきたい。 (澤井 金作)</p>	<p>すぐ見て、夏のプールのシーズンに間に合うように必ず補修をする。</p>	生涯学習 スポーツ部
36	<p>【活動の実践について】 毎日ウォーキングをしている。体力をつくるには、やっぱり毎日の積み重ねが大切。私は、歴史とか虫とか動物とか、草のことでいろいろ勉強している。先日講演したらお客さんがすごく喜んだ。他にも勉強している人がいると思うので、PRをしたり、地域で先頭に立ったりしてほしい。 (澤井 金作)</p>	<p>特技を生かして世に尽くそうというのは、素晴らしいと思う。蓄積された知識を生かして広く市民のために頑張ってもらいたい。市も、ときにはお手伝いをいただくようなことを考えておく。サタデースクール等で、そういうお話をさせていただくと喜んでいただけると思う。</p>	生涯学習 スポーツ部
37	<p>【事務所の拠点化計画について】 由木東事務所の規模を縮小して、南大沢に拠点を移すということの計画が進んでいると聞いた。市からは検討中であり、サービスは低下させないという返事をいただいたが、どんな計画になっているのか。 (鈴木 敏男)</p>	<p>これはたたき台として、これからより良い方法を検討していく。実態として、交通のアクセスとか、単に地図の上だけでここならいいだろうとか、これはなくしてもいいだろうと簡単にはいかない。地域住民の皆さんに不満や、あるいは不安を感じさせないように、これは慎重に検討していく。</p>	総合政策部

【西部地域】

平成 18 年 6 月 3 日 (元八王子市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
38	<p>【トリム健康体操について】</p> <p>トリム健康体操を始め、今年で 18 年目に入る。月曜日、金曜日とやっており、40 代から最高齢は 80 歳の方がみえている。この体操は、宿題もなく落ちこぼれもない。それぞれの体調、病気がありの場合でも、自分にあわせた取り組みができる。当初、50 名ぐらいの会員だったが、今は二つの会で 200 名近く来ている。こういう会を持続していくということは、同じ曜日、時間帯、会場というのが条件ではないかと思う。</p> <p>(大嶋 道子)</p>	生涯学習 スポーツ部
39	<p>【食を通じた健康について】</p> <p>できるだけ日本人にあった食事を広めていきたいと思っている。具体的な方法として、クリエイトホールの調理室で沖縄料理などの体験実習を行っている。日本人が築いてきた調理の知恵を、何とか一人からでも増やしていきたい。命の源は食べ物であり、地元で新鮮な旬の野菜を身近で入手できないか模索している。旬の野菜を、これからの世代の方に食べてもらい、どういうふうにできあがるのか、農家と一体となってそういう場にも出て行きたいと考えている。</p> <p>(佐藤 大八)</p>	市民活動 推進部  産業振興部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
40	<p>【産廃処理施設について】</p> <p>居住地の近くに、産廃処理施設があり、秋川街道の方を歩いていると悪臭がする。緑豊かな八王子というのには相当ずれがあると思うが、実態について市ではどう把握されているか。既に周りはほとんどが住宅地になっている中で、移転を指導していただけないか。</p> <p>(斎藤 道彦)</p>	<p>ご指摘の場所は、準工業地帯で工場も建てられる地域であり、工場と住宅が混在している。そのため、住宅は建ぺい率等優遇されている。産廃処理施設の移転指導については、その工場が、はっきり公害を発生しているというようなことがあれば、対応しなければならないが、第一義的には無理。悪臭についての苦情は、全然ない。</p>	環境部
41	<p>【道路の拡幅について】</p> <p>八王子が発展するためには、地域によっては多少違いがあると思うが、道路が狭い。昔の農道がそのまま住宅地に変わったという感じがある。しっかりとした都市計画をつくって道路を拡幅するなどしないと、発展はないのではないかと考えるが、市の計画を伺いたい。</p> <p>(斎藤 道彦)</p>	<p>狭いところでも、建築基準法の 42 条 2 項道路、みなし道路というので、今までそこに人が生活をしているという実績があるならば、念書をいただき家を造らせていた。それで家が建ってしまっているのに、なかなかこれは難しい。道路を造るとしても、一番大変なのは用地の確保。八王子の都市計画道路の整備率は 66% で、多摩地域の平均よりいいが、まだ十分ではないということは承知している。そういう難しい事情があるということも、ぜひご理解いただきたい。</p>	まちづくり 計画部  道路事業部

【西部地域】

平成 18 年 6 月 3 日 (元八王子市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
42	<p>【散歩道の整備について】</p> <p>散歩をしたいと思っても、泉町周辺は余りいい散歩道がない。それで浅川の河川敷の整備をお願いしたい。大和田の方はかなりよくできているが、泉町のあたりはまだ放置されたままのような感じがする。計画があれば伺いたい。</p> <p>(斎藤 道彦)</p>	<p>浅川の松枝橋周辺のところは、河川の中に民有地がたくさんあり、堤防そのものもなかなかできにくいなど、まだ用地の整理ができていない。一級河川でもあり、そういう難しい問題もある。必要性はよく承知をしているので、これから努力をしていく。</p>	<p>まちなみ整備部</p> <p>道路事業部</p>
43	<p>【屋上緑化について】</p> <p>陸屋根の家屋の場合、その屋上の緑化とか、あるいは太陽光発電に対する補助を行っている自治体があると思うが、八王子ではやっていないと聞いた。これからの環境対策とかということを考えて上で、ぜひ積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>(斎藤 道彦)</p>	<p>陸屋根の屋上緑化、あるいは太陽光発電への市独自の補助はしていない。豊かな自然があるということも基本にあると思うが、国や都の補助等もあるので、使えるところは使っていただきたい。八王子は八王子なりの取り組みをしているところもあり、今のところは考えていない。</p>	<p>環境部</p>
44	<p>【喫煙の規制等について】</p> <p>健康増進法が制定され、各施設の管理者の管理責任というものが法的に決まっている。八王子の場合、例えば飲食店に入ると、ほとんど喫煙が制約されてない。駅前やその他道路での歩きたばこも非常に多い。千代田区その他では対策を取っており、この点についての指導をお願いしたい。</p> <p>(斎藤 道彦)</p>	<p>レストランなど、実際に喫煙の席を分煙で設け対応しているところもあると思う。歩きたばこは、マナー向上のキャンペーンを行い4割減った。これ以上これを向上させるには、罰則規定まではなかなか難しいと思うが、条例でも作らないといけなかなと思う。どれだけ実効性が上がるかわからないが、条例の制定を検討している。</p>	<p>環境部</p> <p>健康福祉部</p>
45	<p>【喫煙のステッカーを貼ったらどうか】</p> <p>駅周辺とか目抜き通りに、歩きたばこは迷惑行為ですよというようなステッカーを貼ったらどうか。そんなにお金もかからなくて済むと思う。</p> <p>(斎藤 道彦)</p>	<p>看板を立てることで、モラルが向上するとは思っていない。大勢の皆さんの協力をいただいて、定期的にキャンペーンをやっており、携帯用の吸殻入れをお配りするなどこまめにやっている。やっていて、実際に集めてみると 40%はその成果が出ているということだが、その辺が限界かなという思いもある。より具体的なことを考えていきたい。</p>	<p>環境部</p>

【西部地域】

平成 18 年 6 月 3 日 (元八王子市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
46	<p>【道の駅の周知について】</p> <p>道の駅がどこにできるかということが、よくわかっていない方が全体で多い。八王子駅前大きな市のテレビに、地図などでも書いていただくとか、道の駅は来年こういうふうにできるというのをお願いするなど、PRをしてほしい。今年中に、大きなイベントでも実施したらどうか。</p> <p>(松木 英子)</p>	<p>造成工事が終わったということで、まだ、何も形が見えてない。工事は7月着工するが、着工して一応目途がついてきたら、PRをまめにやりたい。いろいろ考えてみたい。</p>	まちづくり計画部
47	<p>【ネオテニスの普及について】</p> <p>八王子が作ったニュースポーツのネオテニスを、35歳から78歳まで約25名のサークル的なクラブを作って活動している。そのネオテニスについて、多摩国体に向けて、もっと市民にPRしていただけないか。</p> <p>(中村 正一)</p>	<p>普及活動には、是非努力をしていただきたい。国体競技は、競技人口を増やすということが先。楽しまれている方は、その楽しみを分かち合うように、ぜひ広めていただくような努力をしていただくということが先決なのかなという感じがする。せっかく八王子発のスポーツなので、私どももバックアップしていく。</p>	生涯学習スポーツ部
48	<p>【市の指導力について】</p> <p>どこの地区も総合型地域スポーツクラブの立ち上げに大変苦労し、ボランティアで動いている。クラブを各地区に作れという号令や説明会をやるだけでなく、どうすればよりいいか、こういう動き方ができたよとか、そういう指導力を発揮していただきたい。もう一つは、PRをしていただきたいと思います。</p> <p>(中村 正一)</p>	<p>総合型地域スポーツクラブへの移行ということで、市がもうちょっと指導力を発揮してもらいたいという、これは全くそのとおりだろうと思う。担当者、責任者にその意を伝えてある。担当者がしっかりと勉強をし、夜、皆さんにお時間をいただき膝を交え、そして理解をしていただくよう努力をする。</p>	生涯学習スポーツ部
49	<p>【スケートボード場の設置について】</p> <p>八王子では、若い人たちの広場というのがなかなかない。八王子駅南口でスケートボードを楽しそうにやっていた。府中には、府中の森の中にそういう場所がある。若い人たちにそういう場所を与えてあげたらいいのではないかなと思う。</p> <p>(岩間 加津枝)</p>	<p>スケートボードの場所はなかなかないが、今度、戸吹の最終処分場跡地にスケートボードができる場所を造る。そこで、スケートボードの大会もできるように考えている。そういう場を提供しようと、これはやっていきたいと思う。</p>	生涯学習スポーツ部

【西部地域】

平成 18 年 6 月 3 日 (元八王子市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
50	<p>【音楽活動の場所について】</p> <p>立川あたりでも、音楽活動で若い人たちが駅のところで演奏している。八王子の場合、甲州街道あたりのシャッターの閉まっているお店の前で演奏させたらどうか。若い人たちに場所を与えてあげれば、もっと明るくなると思う。</p> <p>(岩間 加津枝)</p>	<p>ストリートミュージシャンのコンクールができるようなところを、八王子駅南口の整備をしたときに、南口の広場にそういう場を造る。それとは別に、ストリートミュージシャンのほかにも、何かパフォーマンスができるようなそういう場所を造りたい。</p>	まちなみ整備部
51	<p>【横川住宅横の道路について】</p> <p>横川住宅の横の道路が、長い間行き止まりになっている。あの場所は、橋ができるのか伺いたい。</p> <p>(岩間 加津枝)</p>	<p>橋の計画はあるが、優先順位をつけて一つずつ解決をしていかないと、予算、財源の面でも、それから地元の皆さんのご協力をいただくという面でも、なかなか難しいものがある。そう遠くない時期に何とかしたいが、今、利用度の高いだろうというものを優先して取り組んでおり、もう少しお待ちいただきたい。</p>	道路事業部
52	<p>【保護司の活動場所について】</p> <p>八王子保護司会が活動しようと思っても、相談所も会議所も何もない。他市などに聞いてみると、市役所の中に場所や係や、そういう人がいると聞く。今後、保護観察所、裁判所が立川の方へ移転してしまい、ますます居場所がなくなる。会議場や相談所をどこかに設けるなど、もう少し何かしていただけないか。</p> <p>(森原 崇生)</p>	<p>場の提供の話は、一度も聞いたことがなかったが、必要があれば私どもも対応する。皆さんが十分な活動ができるような環境を作るといのは、我々の責務だと思う。保護司の場合は保護司会というのがあり、民生・児童委員の協議会というのもあるので、組織としてお話をしてほしい。必要なことであれば、きちんと対応しなければいけないと思う。</p>	健康福祉部
53	<p>【パチンコ店駐車場への指導について】</p> <p>パチンコ屋へ行って、駐車場に5時間子どもを放置したという記事があった。八王子は、パチンコ企業がものすごく多い。市も、事故防止のために、条例まではいかないまでも、駐車場を見回っていただくとか、看板を出して子どもを車の中に置き去りにしないようにするなどできないか。</p> <p>(中川 順子)</p>	<p>パチンコ屋に規制をしたり、市が条例を作って規制をするという問題ではないと思う。これはまさに自己責任の問題。これは時間がかかるけれども、そういう親をきちんと教育をしていく、そういう親にならないような子どもの教育をきちんとしていく、そこからだと思う。時間がかかると思うが、しっかり我々も頑張っていきたい。</p>	産業振興部 こども家庭部



【東南部地域】

平成 18 年 6 月 24 日(由井市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
54	<p>【体力づくりについて】</p> <p>市民健康づくりという目的で、体力づくり運動が始まって 30 年余り経った。由井西部地区でも、スポーツ教室やスポーツ大会を行っている。学校開放の協力もいただき、バドミントン、卓球など様々なスポーツを実施している。スポーツを通じ友人も増え、つき合いも広がり、生きがいにもつながってきている。体を動かすことにより体力もつき、動く意欲にもつながり、心身ともに健康な日々を過ごせると信じている。寝たきりになる日を、一日でも先延ばしできるよう頑張っていきたい。(川幡 ミチ子)</p>	生涯学習スポーツ部
55	<p>【子どもたちとの交流について】</p> <p>小学校から、昔の遊びについて教えてほしいという話があり、子どもたちに姉さん人形作りを教えた。元気な子どもたち、真剣に取り組む子どもたちの姿を見ていると、あっという間に時間は過ぎて行き、作品も何とかでき上がった。私はそれを見て、よくできたねと褒めてあげ、一緒に喜んだ。その後、教室で子どもたちと給食を食べながら色々な話をし、楽しい時間を過ごした。また、子どもたちからはお礼の手紙をもらい、とても嬉しく思った。今でも老人会で続けており、子どもたちと触れ合うことはよき思い出となり、心と体の健康に役立っている。(早川 秋)</p>	学校教育部
56	<p>【食生活と健康について】</p> <p>八王子管理栄養士会は、八王子保健所の呼びかけにより、管理栄養士の資格を持つ者が集まり、6 年ほど前から生活習慣病が気になる方の食教室というテーマで講習会を行っている。現在、テレビとかマスコミなどで毎日のように取り上げられ、健康とか食生活の知識は豊富だと思うが、ちょっと極端な知識とか、一部の偏った知識とかをお持ちの方が多い。高齢化社会に向け、食生活は健康長寿という意味では、とても大切な役割を果たしていると思う。(岩瀬 政子)</p>	健康福祉部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
57	<p>【グループホームについて】</p> <p>八王子にある障害のある人たちのグループホームは、まだ 21 ぐらいで、大体 100 名ぐらいの利用の方がいる。重度の方たち、中軽度の方たちのもう 1 寮を作っただけだと大変ありがたい。知的な障害の方、身体的な障害の方、精神的な障害の方も、八王子の中で生きていけるようにご尽力いただきたい。(矢代 美知子)</p>	<p>障害者自立支援法が施行されたが、その趣旨は、障害を持っておられる方が、住み慣れた地域で生活ができるように、自立ができるように支援をしようということ。私どももきちんと受け止めさせていただく。今、八王子には知的障害者のグループホームは 22 施設だが、まだ十分でないことはよく承知をしている。これは精一杯努力をする。少し時間をください。</p>	健康福祉部

【東南部地域】

平成 18 年 6 月 24 日(由井市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
58	<p>【プレイパークについて】</p> <p>冒険遊び場プレイパークを、八王子に作りたいと思っている。プレイパークは、子どもが好きなときに遊びに行け、自分で考え自分で行き、いろんなことに挑戦できる場所。東京だけでも 100 カ所、全国で言うと 200 カ所ぐらいできている。プレイパークでは、たくさんの人に会え、子どもも何歳までとかの境目もない。子どもにはけがをする権利だってある、ということをお母さんは考える。お母さんの危ないが、一番危ないという考えもある。</p> <p>(石川 ゆかり)</p>	<p>プレイパークでの原則というのは、自由に遊んでいいけれども、事故の責任は自分で持つということ、これがいいところ。こういうことをきちんと理解をし、泥まみれになって、いろんな冒険したり遊んだりする場所を作ることは、必要なことだと思う。ただ、八王子は自然が豊かで、ごろごろ転がれるようなところは幾らでもある。そういう適切で利用しやすいような場所が見つければ、前向きに考えたいと思っている。</p>	<p>まちなみ 整備部</p>
59	<p>【公立病院の必要性について】</p> <p>中核病院として大学病院が使われているということに、私は大きな疑問を持っている。大学病院というのは、いろんな問題を抱えていると思うが、市民の健康を守る市として、その辺をどういうふうにか。また、公立病院の必要性があると思う。都の医療の担当部署あたりとも十分協議をされて、必ずしも市の市立病院でなくても、都と共同で作っても結構だと思うので検討いただきたい。</p> <p>(川井 順)</p>	<p>大学病院がすべての面で優れているとは思っていないし、市立病院が、すべての面で大学病院より優れているとも思っていない。市立病院を今作るということはない。地域医療は、非常に重要な問題として今まで取り組んできた。地域の診療所、開業医の方々、中規模の病院、二つの大学病院との連携というルートも作った。与えられている状況の中で最善を尽くすことが、大事なことと思っており、医療に対する不安、不満というものをお持ちにならないよう努力をしていきたい。</p>	<p>健康福祉部</p>
60	<p>【近隣の迷惑行為について】</p> <p>隣の家から、煙とか蒸気とか臭気が毎日出て困っている。朝からずっと煙が出ているし、臭いもずっと出ている。蒸気というのは雨戸や、ガラス戸、障子を閉めていても家の中に入ってきて、押入れとかたんすの中にまで入る。どこの場所に行っても苦しい。これを何とかしてほしい。</p> <p>(東 和子)</p>	<p>現地には、今までも所管課が数回伺っているが、全くわからないそうだ。現地をもう一度見させて、確認させる。</p>	<p>環境部</p>

【東南部地域】

平成 18 年 6 月 24 日(由井市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
61	<p>【傍聴人の質問について】</p> <p>市の委員会などを傍聴に行くが、そのときに傍聴人からの質問を許していただけるような形にしていだけないか。もっと本当の意味の市民参加という形の市政になるかなという感じがする。傍聴人は、ただ聞いていればそれでいい、発言はしてもらっては困る、そういう形では本当の市民参加の形にはならないと思う。</p> <p>(山田 徹)</p>	<p>市民の代表の方が議会で発言をされている。また、委員会や審議会には、必ず一般市民の皆さんも入っていただくよう募集をし、大変大勢の方に手を挙げていただき、そういう中で参加をしていただいている。傍聴に来て、委員と同じように参加をすることが、それが市民参加だというわけにはいかない。</p>	総合政策部
62	<p>【郷土資料館の建替えについて】</p> <p>他市の郷土資料博物館を見学した。比べてみると、八王子市の郷土資料館は、建築年数が大分経っており、場所も狭いということを感じた。他市に負けない歴史を持つ八王子市であるので、郷土資料館を充実させて改築するとか、そういう文化都市八王子を目指していただきたい。</p> <p>(山田 徹)</p>	<p>新しくできた施設は、みんな良くてできている。八王子の郷土資料館も、今度造るときには、多摩でも有数なものを造りたい。ただ、優先順位があり、いっぺんにできない。一つひとつ着実に事業や施設整備をしていかななくてはいけないというのもあるので、その点はぜひご理解をいただきたい。</p>	生涯学習 スポーツ部
63	<p>【ポイ捨て防止の教育について】</p> <p>多摩ニュータウンは大きなきれいな建物ができているが、下を見ると紙くずがポイ捨てで散らかっている。この頃は少なくなってきたが、そういうのは小学校とか幼稚園のときに徹底的に教育したほうがいいのではないか。その前に母親がすべきと思うが、教育の方でも取り上げてほしい。</p> <p>(井上 光子)</p>	<p>今は、躰をできない親が増えていて、家庭でやるべきことをみんな持ち込まれ学校が悲鳴を上げている。モラルの低下というのは、いろんな分野である。たばこのポイ捨ては、マナーの向上が本来だろうとキャンペーンをやり努力をしてきたが、今は条例をつくってPRをする以外にないと考えている。地域の皆さんが学校をよくすること、子どもたちをどう教育するかというのは、家庭もそうだが、地域の地域力の影響が大きい。地域の皆さんが子どもをいろんな角度から見守っていただき、そして育てていただくというのは大事なことだと思う。</p>	学校教育部 環境部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
64	<p>【自助努力について】</p> <p>市に要望をする方は新しく来た方がほとんどで、前から代々住んでいる方は道路の整備や草むしりなど、自助努力が当たり前という感覚を持っていた。それがコミュニティや子どもの育成にもつながったと思う。お互いに努力しなければいけないところは努力してもらい、素晴らしい施設を造ってもらうのも大事だが、八王子市民が平等に最低の権利は行政の方でやっていただきたい。 (浦辺 博)</p>	<p>古い方から見ると、新しい方への不満というのもあったり、新しい方はよそから来られるから、八王子はやっていないじゃないか、ということが往々にしてある。まちというのは、みんな知恵を出し合っている。古き良きものと、新しい知恵が一つになれば、八王子はもっといいまちになる、そう思っている。</p>	総合政策部
65	<p>【青少年対策委員への報奨金について】</p> <p>公園アドプト制度は、歳出削減や市民参加の意味から無償で行っている。しかし、平成4年度に制定された青少年育成指導員は、見直しがされずにそのまま存続をし、年間三千数万円支払われている。何故、そういうところに目を向けないのか。公平な対応をしてほしい。一方では切って、一方ではそのままというのは不公平ではないか。 (守下 鉄夫)</p>	<p>青少年育成指導員の報酬の問題については、議論されるときがあるが、今のところ現状のとおりである。問題提起として内部でも検討してみる。</p>	こども家庭部
66	<p>【公園のボール禁止について】</p> <p>公園でボール遊びの禁止という看板がある。ボール遊びをすると怒られてしまうということもあるみたいで、子どもたちは公園でゲームをして遊んでいる。そのことに関してどういうふうに思われているか。 (村松 千枝)</p>	<p>小さな公園では、そのような禁止事項があるかもしれないが、大きな公園に行けばボール遊びは可能ではないか。公園アドプト制度に参加してもらい、その中で、公園のルールについても皆さんで決めてもらいたい。</p>	まちなみ整備部
67	<p>【みなみ野に図書館を設置して】</p> <p>八王子市は、子どもたちで図書館に行ける距離には図書館がない。学校の図書室と図書館を融合させた形で、一般の方も来られて学校の児童も使えるような、リクエストを主に受けて本の冊数は少なくとも地域の方が交流できるような、そういう場があればいいなと感じている。 (村松 千枝)</p>	<p>みなみ野は、従前から住んでいる方々がリーダーシップをとって、イニシチアブを取りながら、新しい人たちとの交流の機会を多く作っており、いいまちづくりをしていると思っている。そう簡単にすべての施設を揃え、はいどうぞというわけには、まちづくりはいかない。市内には、まだ下水道の恩恵に浴さない地域もある。少し時間をいただき、少しずつ整備をしていく。</p>	生涯学習スポーツ部 まちづくり計画部

【北部地域】

平成 18 年 7 月 1 日（石川市民センター）

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
68	<p>【第八地区スポーツクラブについて】</p> <p>第八地区の体力づくりは昭和 48 年から 32 年間にわたり、だれでもいつでもどこでもスポーツができるということで実施してきたが、平成 18 年の 4 月より、発展的に解消し、スポーツクラブと名称を変えた。基本的な考え方は、体力を維持増進し、コミュニティ活動での仲間とふれあい、心身健康で元気に暮らせるということ。今まで体力づくりは、働いている人たちや家庭婦人など、大人が対象だった。今度は子どもから高齢者までということになる。また、自分たちで受益者負担という形で、少しでもお金を持ってもらう。地域に四つの学校があり、学校ごとにもっとミニにして地域と協調しあうという形で、ふれあいスポーツ教室など実施していくので、一緒にやっついこうという人がいたら、どんどん入っていただきたい。 (福島 忠治)</p>	生涯学習 スポーツ部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
69	<p>【学校開放について】</p> <p>学校開放については、要するにはっきりとした方針が今のところ出ていない。やはり、学校開放で継続的にこれが進められなければ、スポーツクラブの活動はできないということがあると思うので、基本的な見解を聞かせていただきたい。 (福島 忠治)</p>	<p>スポーツクラブの主たる会場は、学校になる。学校の開放は、継続的に保障をする。学校を十分に活用していただかなければ、この活動というのは、浸透するということは難しいと思っている。主たる会場としてぜひご利用いただき、何か不都合があればそれは改めていく。</p>	生涯学習 スポーツ部 学校教育部
70	<p>【学校警備について】</p> <p>学校開放の中で夜間利用することが多いが、無人化の学校があると警備上など問題があると思う。今後の進め方を聞かせていただきたい。 (福島 忠治)</p>	<p>夜間利用している学校については、管理体制が不十分ではないように、不合理のないように調整をする。</p>	学校教育部
71	<p>【身近な健歩道について】</p> <p>自然の中で、ある程度走ったり歩いたりできる健歩道を作ったらどうか。健康ということになると、歩くのが一番簡単で入りやすい。できれば、ある程度険しい道、平らな道、楽なところ、体力に合わせて歩けるような道を作ったらどうか。八王子を一周できるような、そういう健歩道を作り、四つくらいに分けて、春夏秋冬にそこでラリーをやるなどすれば、皆さん参加できるのではないかと。 (中島 利美)</p>	<p>八王子は山坂、丘陵があり、改めて作らなくてもコースはたくさんある。ヘルシーウォーキングは、毎年コースを変え、老若男女たくさんの方に楽しまれ、歩きながら八王子の歴史とか、文化というものを再確認するというような、そういういい機会にもなっている。歩くコースは、八王子はたくさんあるので、ぜひ少し工夫をしていただければと思う。</p>	生涯学習 スポーツ部 健康福祉部

【北部地域】

平成 18 年 7 月 1 日（石川市民センター）

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
72	<p>【あったかホールのプール無料開放日について】</p> <p>あったかホールの温水プールで、水中ウォーキングをしている。高齢者には特に変形性膝関節症などで悩む人が多い。そういう人たちのために、現在の木曜日だけではなくて、無料開放日をなんとか増やしていただけないか。無料開放日でない日にも行ったが、1日2時間で400円の費用がかかる。（小坂橋 稔市良）</p>	<p>あったかホールは、これは高齢者専用の施設ではなく、無料開放日を増やすというのは、検討はするが難しいと思う。これはすぐにどうこうというわけにはいかない。東浅川に、高齢者を対象にした東浅川保健福祉センターがある。そこはプールも大きく、そういった活用が十分にできるような配慮をされた施設なので、ちょっと足を延ばしていただければと思う。できるだけ多くの市民に、幅広く活用していただきたいと思う。</p>	環境部
73	<p>【はちバス路線について】</p> <p>はちバスは、丸山町や久保山町の下の方の宇津木台までは来ているので、何とか丸山町や平町まで運行していただけないか。丸山町からあったかホールに行くことができれば、たいへん有り難い。（小坂橋 稔市良）</p>	<p>はちバスは、そういうご要望が非常に多いが、要望にはお応えしきれない。コースを決めるときには、専門家などに入っただき委員会を作り、コースを決めたという経緯がある。それを簡単にあっちの路地、こっちの路地というわけにもいかない。今後の取り組みの課題とさせていただきます。</p>	道路事業部
74	<p>【はちバスの運行について】</p> <p>以前から、はちバスをひよどり山にも運行してほしいということで何度もお願いはしている。その後の考え方はどうか。（伊藤 満）</p>	<p>こっちも入れてくれ、あっちも入れてくれで、はちバスのコミュニティバスとしての機能というものを損ねるようなことになっては、何もなくなってしまうと思う。これはこれからの課題の一つとして受け止めさせていただきたい。これはそう簡単な問題ではないと思うので、少し時間が必要になると思う。</p>	道路事業部
75	<p>【地域住民の赤道確保について】</p> <p>中央道に第二ひよどり橋という橋がかかっているが、ここに隣接する道がなくこの橋が全然使われていない。赤道があるので、平成16年からいろいろお願いしており、開発業者とも折衝し、工事が終わったらこの橋を渡って16号線のバス停に、自分たちで歩いていこうと考えている。この赤道の確保をぜひお願いしたい。（伊藤 満）</p>	<p>これは使えるようにしたいと思う。業者のほうにも話をしているので、造成工事の目途がついたら、道路の整備をして通行ができるようにしたいと思っている。</p>	道路事業部

【北部地域】

平成 18 年 7 月 1 日（石川市民センター）

発言 番号	要望要旨 （発言者）	市長答弁要旨	担当所管
76	<p>【JICA 八王子国際センター閉館について】 八王子研修センターが閉館されるが、跡地を市が国のほうからぜひ受け継いでいただき、近隣の自治会が会合をできるような場所をぜひ確保してほしい。現在総会とか会合は、研修センターの会議室を借りており、閉館されると自治会の運営が困ってしまう。 （伊藤 満）</p>	<p>今、無償で譲渡しないかと JICA のほうに話をしている。引き取ると、それを活用するということが条件になる。国でやってもできないものを地方自治体が引き取って、それを十分に黒字が出るような活用するというのは、これはどこのまちでも難しい。引き取ると維持費もかかるようになる。単純に引き取るということも、難しいかなと思う。</p>	市民活動 推進部
77	<p>【道路の渋滞について】 バスがラッシュ時につながってしまった場合、全く動かない。一般の車が多いということも一つ原因に挙げられると思うが、八王子市はどれだけ道路の状況に関して取り組みをしてきたのか。一般の道路を一般の車が走るのは当たり前、バスの専用道路をつくる、そういう計画もあってもいいのではないかと。 （奥田 真吾）</p>	<p>東京都と協力をしながら道路の拡幅を進めてき、人口の増加のほうは早く、朝晩の渋滞というのは避けられない状況。道路の新設や拡幅は地権者の協力ができないと、道路用地の確保が一番難しい。交差点のところだけ四隅を拡げるすいすいプランを、都の予算で整備を進めている。それにより随分流れがよくなった交差点がたくさんある。これからも着実に道路整備を進めていく。</p>	道路事業部 まちづくり 計画部
78	<p>【プール利用者の水着について】 非常に見苦しい格好でプールに入る人がいる。ポケットが四つも五つもあるようなニッカズボンみたいな姿や、パーティにでも行くような、裾の長いドレスで入っている。非常に不衛生・非常に不健康である。プールに入るには、プールに入るような TPO があるはず。ぜひ改善していただきたい。 （近内 英輔）</p>	<p>そういう話を今まで耳にしたことがなかったが、これは、管理者のほうに厳重に注意をする。不衛生ということは、一番の問題。不快感を感じるような、そういう服装でプールを使っていたらだいたくない。全く同感であり、十分注意をしていく。</p>	生涯学習 スポーツ部
79	<p>【バス停について】 国道 16 号線の拡幅が、2010 年に終了すると聞いた。現在、稲荷坂バス停と手前の川口川橋のバス停は非常に近いが、稲荷坂のバス停から 16 号の坂を登って、馬場谷戸の停留所までは遠い。拡幅ができたときには、ひよどり山の入り口のあたりに、バス停ができるようにしていただきたい。また、横断歩道も設置してほしい。 （荒 安子）</p>	<p>国道 16 号は拡幅を今急いでいる。拡幅ができた時点で、バス停はどこの場所が一番適切なのか、バス会社とも相談をしながら検討していきたい。横断歩道は、事故が起きたら責任の問題もある。事情はよく理解できるが、道路管理者・交通管理者とも相談をしながら善処したいと思う。</p>	まちづくり 計画部 道路事業部

【北部地域】

平成 18 年 7 月 1 日（石川市民センター）

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
80	<p>【健康体操について】</p> <p>他市では転ばないような体操をする教室があり、会場に行って受けるようにという葉書が来ると聞いた。転んだら骨折に結びつくような人が多いので、そういうことも考えていただきたい。</p> <p>(荒 安子)</p>	<p>まちによって、それぞれ特色のある施策をやっている。高齢者への施策というのも八王子も始終やっており、広報をご覧いただければプラスになる点がたくさんあると思う。高齢化施策というのは大事なことで、市独自の対策といったことも考えていかななくてはいけないし、いい取り組みをしているなどと言っていたらいいようなことを考えていきたい。</p>	健康福祉部
81	<p>【小学校のトイレの改修について】</p> <p>加住小学校のトイレは、非常に不衛生だと聞いた。というのは管理の面で不衛生ということだけでなく、施設的に老朽化して、子どもが入るのに嫌悪を感じるようなので、健康な子どもを育てるために改善するようお願いしたい。</p> <p>(西山 富保)</p>	<p>年次計画を立て、トイレの改修に取り組んでいるので、少し時間をいただきたい。古い学校のトイレは、ほとんど和式で、余りなじめないというのもある。その改善をするなど、今いろいろ進めているが、いっぺんにはなかなかできない。古くて、すぐに直さなくてはいけないところから改善をしていく。</p>	学校教育部



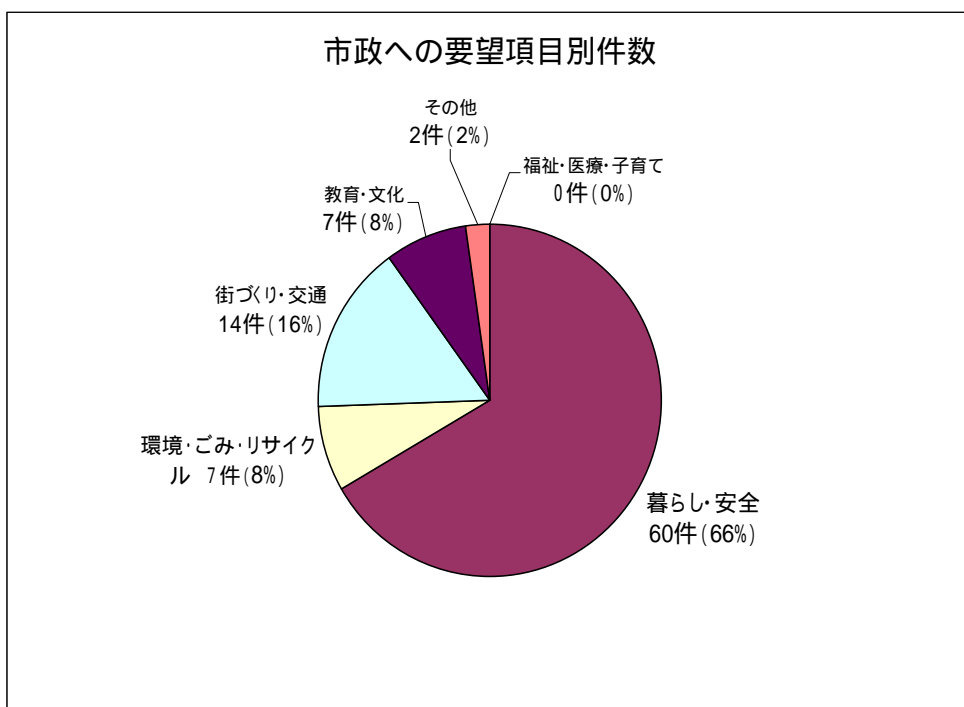
## 6. 過去の提案等取り組み状況

### 平成17年度“タウンミーティング「市長と語る」”提案等取り組み状況

テ - マ みんなでつくる安全・安心なまち ~育てよう地域の防災力~

各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月21日	加住市民センター	北部	加住 石川	83	11	17
5月29日	恩方市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	95	8	12
6月4日	横山事務所	西南部	浅川 横山 館	103	8	17
7月9日	北野事務所	東南部	由井 北野	117	8	13
7月16日	由木東市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	103	10	15
7月23日	市役所本庁舎	中央	本庁	103	12	17
合 計				604	57	91



## ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると

平成17年5月21日・加住市民センター【北部地域】

<意見> 防災パンフレットなどを保存版の一冊の本のような形にして、各戸に配付し、これを見て食料はなぜ3日間くらい確保しておかなくてはいけないのか、一時避難場所はどこか等をきちんと皆さんに伝え、市民の防災意識の向上を図っておく必要があると思う。

(三枝 眞明 様)

市長 来年度予算で防災マップを全戸配布する予定なので、何を家庭で保管しなければならないか等の必要事項を書き加えて配布したい。

【対応】 防災マップについては、普段の心構えや非常持出品、避難場所情報及び災害発生時の対応などを掲載し市民の防災意識の向上を図りたい。作成配布時期は、平成18年10月を目途に全戸配布することとしている。

<意見> 宮下町には、老人ホームや病院等で患者等400人ほどいる。災害時には衣食住は足りると思うが、薬・薬局が必要になると思う。宮下・加住地区には、そういった施設がないので、市として何かできないか。

(三橋 道子 様)

市長 市で薬局をとというのは現実的ではない。市は薬剤師協会と協定しており、協力をいただくことになっている。また、老人施設で災害時最低限必要な救急医薬品等をそろえているのかどうか確認してみたい。

【対応】 市では災害対策用医薬品7点セット(500人用)2組、簡易セット(50人用)72組を保健センターや独立防災倉庫に備蓄しており、災害時には応急救護所へ搬送することになっている。

また、不足する場合には、東京都薬剤師会八王子支部に供給協力を要請することができる協定を締結している。なお、宮下町で外来の診療所を併設している老人ホームでは、通常の医薬品の在庫があると聞いている。行政(公助)の遅れ・限界の点で地域住民と共存共栄するため、町会・自治会との協働関係の構築をすすめていきたい。

<意見> 私たち消防庁の災害時支援ボランティアは、八王子消防署に200余名登録され、常々、救命・消火訓練等に参加しているが、防災組織が立ち上がっていない地域の高齢者等への対応はどう考えているか。また、市民防災を考えるフォーラムの立ち上げについて、市は承知しているか。  
(細田 浩三 様)

市長 いろいろな面で、ご尽力いただき、大変ありがたい。高齢者、障害者への対応についても、適切な支援ができるようにしたい。家具転倒防止金具の配布も行っている。フォーラムについてはまだ市では把握していない。

【対応】 一昨年から、町会自治会・管理組合を基本に自主防災組織の結成を重点事業とし、団体の役員会等で説明を重ね、16年度は23団体(23町会自治会、管理組合)、17年度37団体(54町会自治会、管理組合)が結成された。お住まいの地区でも自主防結成検討を積極的に進めていると聞いているが、災害時の高齢者等の支援は、行政と町会・自主防や地域の民生委員、消防署、消防団、包括支援センター等が連携・協力し安否確認や援護に努めていく。

また、高齢者等の事前支援として、65歳以上のひとり暮らし高齢者や70歳以上の高齢者のみ世帯に家具転倒防止金具を希望者に配布や取り付けも行っている。なお、自立の精神を原則に社会貢献活動を行っている特定非営利活動法人・市民活動協議会が昨年6月25日、地域防災を考えるフォーラムを開催し多くの市民の方や市職員も意見交換を行った。

<意見> 防災倉庫の鍵の管理は、限られた人が行っている。しかし、災害の際には、その鍵の管理者が出てこられない場合も想定できる。ついては、災害時等非常時には、近くの人が開けられるようにしてもらうことはできないか。また、鍵がなくても、非常時には開けられるような工夫ができないか。

(金井 雅城 様)

市長 校門と防災倉庫の鍵の連動も考えながら改善を検討する。地域の皆様のご協力もいただきたい。

【対応】 災害時に避難が必要な場合、一時避難場所として指定している小中学校の校庭へは、学校周辺の方が一番早く避難することができる。しかし、土日・夜間、校門は施錠しており避難に支障を及ぼすため、鍵の管理を学校周辺の自主防災組織や町会等をお願いすることを検討しており、関係団体のご協力とご理解をお願いしたい。なお、学校内の防災倉庫の

鍵については、市職員等が校舎等の安全を確認した後、関係団体の協力をいただき避難所として管理運営していくのでご理解願いたい。

平成17年6月4日・横山事務所【西南部地域】

<意見> 建物耐震補強支援（最大の予防策）として、地元建設業者、設計事務所、NPO、ボランティアを組織化して 低価格での建物診断制度の実施（市の補助金も拡大） 家計予算に応じる段階別見積書の作成など行ったらどうか。

（古田 清司 様）

市長 木造住宅の耐震診断助成制度を設け一定の補助をしている。また、（社）東京都建築士事務所協会八王子支部に協力をいただいている。

また、診断の話し合いの中で予算に応じて、まずやらなければならない部分、次の段階を見積もりしている。

【対応】 昭和56年5月以前に建築された在来工法による木造1戸建ての専用住宅の所有者に対して「木造住宅耐震診断補助制度」を実施し、平成17年度は41件の耐震診断補助を実施した。平成18年度においても、補助金の拡大はできないが、40件の補助を見込んでいる。また、家計予算については、耐震補強の効果を基本に診断相談の中で業者の方と具体的な相談ができるので願いたい。

<意見> 大地震の時、下敷きになった人達を、その場ですぐ救助可能とするため、交番や駐在所、警察、消防、町内の会館、病院、他適当な所に道具を置いてはどうか。また、道具の使い方及び家の構造などよく知っている建設業者に、事前からお願いしてはどうか。救助の機械だけをあてにせず、道具の置き場所と道具を増やすべきだと思う。

（米田 信三 様）

市長 自主防災組織の備蓄倉庫に基本的な救出用具の5点セット（バール、ハンマー、とび口、スコップ、ツルハシ）を揃えていきたい。ジャッキやチェーンソーも可能な限り備えていきたい。町会の会館にも保管していただいているところもある。定期的に広報で、どこにそれらが備えられているかお知らせしなければならないと考えている。

【対応】 救助用具については、自主防災組織の隔年助成制度の中で救出用具5点セット（バール、ハンマー、とび口、スコップ、ツルハシ）として助成しているほか、本庁舎及び14事務所にチェーンソー、エンジンカッター、油圧ジャッキ、投光機、発電機を各2台配備した。

これらの備蓄・配備状況については、手段・内容は検討中だが、本庁・事務所単位程度で周知していきたい。

平成17年7月9日・北野事務所【東南部地域】

<意見> 避難所となる学校の耐震補強工事は、どの程度終わっているのか教えてほしい。

(菅原 孝子 様)

市長 学校の耐震対策については、前倒ししているが、全校完了予定は平成29年度。校舎については、全106校中、調査は全校完了。対応済が58校。体育館については、29校が対応済。可能な限り期間を短縮して対応したい。

【対応】 校舎の耐震補強工事は、小学校については、今年度中に完了予定。中学校については、平成20年度までに、完了予定である。

改築対象の学校については、平成29年度までに完了予定だが、耐震補強工事との併用により、さらに前倒しを検討する。体育館については、早期に耐震診断等を実施し、可能な限り期間を短縮できるよう対応する。

<意見> 災害等のことを考え、自治会内でアンケートを取りながら、立ち上げの要請をしようと考えている。協働の精神で、もっとみんなが取り組みやすいものを、一緒に考えてみたい。ハード的な問題は、即対応するにはお金がかかるが、ソフトの問題については、お互いに知恵を出し合って体制づくりをしていけば、自主防災組織の結成も増えてくるのではないかと考える。

(阿部 義雄 様)

市長 自主防災組織を既に検討したり、作った地域から必要性を書いたひな型などをいただいて、どうすれば理解していただきやすいか一緒に考え、組織率を高める努力をしたい。地域へ行き説明もしたい。

【対応】 自主防災組織づくりは、大災害になるほど行政の対応(公助)に支障が生じることから、自分達の街は自分達で守る考えから、消防署や自主防災団体連絡協議会役員と共に町会・自治会、管理組合等に説明に出向き、平成17年度は、37団体(54町会・自治会・管理組合)の結成があった。これにより、平成17年度末現在231団体(253町会・自治会・管理組合)になり、全町会等に対する結成率は約47%になっている。

<意見> 地震の際は、水道配管は破壊され、飲料水は供給できなくなる。飲料水確保対策として、地域に手動汲み上げ方式の井戸を掘ることを提案したい。具体的には、私が住む堀之内三丁目において、番場公園（市立）に井戸を設置してほしい。

（塩谷 暢生 様）

市長 八王子には井戸はたくさんあるが、飲料水に適する水質の井戸はほとんど無い。3日間分を各家庭で備えていただければ、由木地区には貯水槽も3つあり、すべての小中学校のプールにはろ過機があるのでご理解いただきたい。

【対応】 災害時の飲料水対策として、現在、南大沢給水所、鑓水小山給水所など18箇所の拠点及び1,500t貯水槽など20箇所で給水活動を行う計画である。また、小中学校のプールの水をろ過し飲料水とする計画もあるが、飲料水確保は、食糧と同様、個人・家庭での備蓄も重ねてお願いしている（一人1日3割の家族数の3日分）。したがって、井戸の設置については、大腸菌、重金属などの問題から飲料水には適さないと考え、前述の計画、考え方で対応していくことをご理解願いたい。

<意見> 災害時にはトイレが大変重要だと思う。エコトイレやバイオトイレなどを準備しておいたらよいと思うがどうか。

（白水 嘉奈子 様）

市長 中越地震の例を見ても、トイレは大事なことだと思う。下水のマンホールの蓋を外して取り付ける簡易トイレというのも良い方法である。災害用仮設トイレは400基整備する。

【対応】 新潟県中越地震の1つの教訓として、本市のトイレ備蓄が不十分であったことから、下水道直結型と汲み取り型を兼ねた簡易トイレを、平成17年度から21年度までに小中学校の防災倉庫等に順次備蓄をはじめた。既備蓄164基に、平成17年度82基購入し38校ほか防災倉庫で備蓄している。今後も、平成21年度まで毎年80基購入し、全体で564基の備蓄予定である。

<意見> 住民に避難勧告が出されると同時に、聴覚障害者に対しては、ファックスや携帯電話のメールによる緊急連絡が一齐に流されるような緊急連絡体制を備えてほしい。最近ほかの地域ではいろいろ体制も整っているようだ。

(青田 一良 様)

市長 登録制で市民へのメールによる緊急連絡を今検討しているので、少し時間をいただきたい。

【対応】 地震情報や避難勧告、指示等の情報は、主に防災行政無線や広報車で行う計画であったが、平成18年度から防災情報や防犯情報、市長メールマガジンのメール配信を始めた。これに伴い、地域防災計画等の見直しやメール配信の啓発に努めていきたい。なお、防災情報については、現在2,233件の登録があるが、引き続き関係団体等へメール配信登録の啓発をしていく考えである。

<意見> 小物の備蓄品について、乾パン等のほかにミルク・お粥・生理用品等の備蓄が必要と考えるが、市の考えは。

(秋間 利久 様)

市長 小物の備蓄については、十分でないが、市として防災倉庫に備蓄を進めている。ミルクは長く保存できないため、大手スーパーと提携を結び、提供していただく体制はできている。

【対応】 備蓄品は、主なものとして乾パン、アルファー化米、毛布、マット等である。これ以外の小物については、お粥7,800食、生理用品5,500袋、紙おむつ80,000枚、トイレットペーパー49,000巻など備蓄をしている。ミルク、哺乳瓶は、備蓄しているが、公助の部分で十分な備蓄は限界がある。乳幼児のいる家庭ではミルク等の備蓄、高齢者がいる家庭ではやわらかい食糧の備蓄等、家庭にあった自助としての対策もお願いすると共に、市としては、スーパーや大型百貨店と協定を締結しこれら物資の安定した供給を図っていきたい。

## 7. 会場配布資料

平成18年度“タウンミーティング「市長と語る」”資料

### 平成18年度の本市の予算について

市は、皆さんがいきいき暮らしていけるまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。市が目標とするまちづくりの具体的な事業を、市の予算に表しています。

今年度の予算編成では、財政再建を図りつつ4つの重点項目を掲げ、「元気なまち八王子」を実現するために事業を厳選しました。

#### 安全・安心な暮らしの確保

多発する災害や子どもを狙った事件に対する備えを緊急・重点課題とし、予算に盛り込みました。

#### 子育て子育ての支援

子育てしやすいまち“ナンバーワン”達成のための事業を予算に盛り込みました。

#### 都市の再生

まちの活力や賑わいを創出する「八王子駅南口地区市街地再開発」をはじめとする都市基盤整備について、積極的に予算配分をしました。

#### 教育環境の充実

学校教育の充実や児童・生徒の安全・不登校対策、老朽化した校舎の改築などソフト・ハード両面からバランスよく予算配分しました。

#### 18年度予算の概要

平成18年度予算総額は、一般会計で1,596億円。前年度に比べ3.5%、54億円の増となりました。これは、歳入面では税制改正に伴う定率減税の縮減などによる市税の増、歳出面では、児童手当の拡大など民生費の増と小学校用地取得による教育費の増などによります。

また、国民健康保険事業など8つの特別会計は、前年度に比べて全体で1.9%、30億6,300万円増の1,649億4,000万円となりました。

一般会計及び各特別会計を合わせた平成18年度の予算総額は、前年度に比べ2.7%、84億6,300万円増の3,245億4,000万円となりました。

### 主な事業

税源移譲をはじめ、地方分権の流れは本格化しつつあります。市は今後、多摩地区最大の中核都市として自立していく施策を積極的に展開し、「最少の経費で最大の効果を果たす」という原点に立ち返りながら、基本計画・基本構想「八王子ゆめおりプラン」を着実に推進し、プランに掲げられた6つの都市像を具体化していきます。

ここでは、「ゆめおりプラン」の都市像に沿って設定した、平成18年度の主な事業を紹介します。

( は新規事業、 はレベルアップなどを図る事業です。 )



## 1. 新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち

地域サービスのあり方検討 **59 万円**  
これからの地域サービスのあり方について、市民の皆さんを交えた検討会を設置し提言を受けます。

窓口受付システムの構築 **242 万円**  
市民課窓口に、呼出番号や待ち人数などを表示できる受付番号発券機を設置。待ち時間を分かりやすくするとともに、聴覚に障害のある方にも配慮します。

### その他の事業

市ホームページの再構築...2,300 万円 など

## 2. 一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち

生活安全対策 **5,760 万円**

防犯・防災情報のメール配信、安全パトロールの強化などを行います。

地域子ども家庭支援センターの開設 **5,956 万円**

地域子ども家庭支援センターを館事務所 2 階と石川事務所 2 階に開設し、予定の 5 館がすべて完成します。

児童館管理運営 **7,913 万円**

対象年齢の拡大や開館時間の延長などを行うとともに、中学・高校生向けの居場所づくりなどの事業を展開します。

学童保育所・自主学童クラブ管理運営 **14 億 7,699 万円**

18 年度の施設整備により、「1 小学校区 1 学童保育所」を達成します。また、保育時間については、利用料金制度により延長保育を実施します。

### その他の事業

重度知的障害者グループホームの拡充...1,281 万円

保健所政令市移行準備...152 万円 など

## 3. だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち

市費による統括指導主事の配置 **990 万円**

指導主事を一人増員し学校教育の充実を図るとともに、指導主事の活動を強化します。

登校支援センター **480 万円**

不登校対策として予防機能を重視したシステムづくりを行い、高尾山学園・適応指導教室などとの連携を図ります。

戸吹総合スポーツ施設整備 **1億7,270万円**

戸吹最終処分場跡地にグラウンドゴルフやテニス、サッカー、ラグビーなどができる施設を3年間かけて整備し、市民の皆さんの健康増進に役立てます。

国際化の推進 **2,311万円**

外国人市民からの市政に対する意見を聴く「外国人市民会議」を開催します。また、外国人留学生の一般家庭における交流も行き、異文化交流を深めます。

#### その他の事業

こどもの安全対策...**865万円**

メンタルサポーター派遣...**958万円** など

### 4. 安全で快適に暮らせる心やすらぐまち

片倉つどいの森公園整備 **10億円**

八王子ニュータウン内の良好な緑地を保全し、既存の地形を利用した自然に親しめる公園を整備します。また、広域的な防災拠点としても活用します。

防災マップ・洪水ハザードマップ作成 **1,482万円**

改定済みの地域防災計画の内容を反映した防災マップと、洪水時の浸水想定区域や避難場所をお知らせする洪水ハザードマップを新たに作成・配布します。

八王子駅南口地区市街地再開発 **6億3,442万円**

八王子駅南口地区における土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、まちの活力や賑わいを創出するため、組合施行による市街地再開発事業を行います。

浅川サイクルロードの整備 **7,700万円**

長沼橋下流から南浅川合流までの整備を完了させるとともに、鶴巻橋から陵北大橋までの河川沿いの一部をサイクルロードとして整備します。

#### その他の事業

高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備...**2億9,651万円**

西八王子駅北口の交通環境改善及び中央線連続立体交差化調査...**300万円** など

### 5. 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

起業家養成・育成 **913万円**

学生などを含む起業希望者に対し、創業に関するノウハウを講義するとともに、事業の成功率を高めるための一貫した支援を行います。

道の駅整備 **5億8,479万円**

地場産の農産物直売所を核とした地域振興施設を併設する、道の駅「八王子滝山」のオ

ープンに向け、建設工事や周辺道路整備などを行います。

#### その他の事業

援農ボランティア制度の創設...28万円 など

### 6. 水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち

ごみ減量の推進 3億8,625万円

ごみ減量をさらに推進するため、発生抑制協力店制度の展開や、マイバック運動の普及促進などを行います。また、事業系ごみの減量対策や不法投棄対策にも取り組んでいきます。

ごみ収集車排出ガス対策 1億6,581万円

ごみ収集車の排出ガスによる大気汚染を軽減するため、天然ガス車やLPG車への更新を行います。

#### その他の事業

環境活動優良事業者支援...45万円

自治体向け環境管理システムの導入...105万円 など

### 市制90周年記念事業一覧

今年市制施行90周年の節目の年にあたり、次の8つの記念事業を実施します。

市制90周年記念式典	614万円
市勢要覧・市勢映像の作成	1,377万円
市制90周年記念八王子まつり	440万円
「ガスパール・カサド国際チェロコンクールin八王子」 の開催支援	600万円
夢美術館市制90周年記念特別展	1,538万円
海外友好都市交流	597万円
市制90周年・郷土資料館開館40周年記念特別展	294万円
市制90周年記念NHK夏季巡回ラジオ体操誘致	80万円

・・・広報3月1日号より

## おわりに

今回の“タウンミーティング「市長と語る」”では、6会場で81名の方々から直接ご提案等をいただきました。また、予定時間を超過した会場もあるなど、各会場とも市民の皆さんからご熱心にお話をいただき、大変感謝申し上げます。

ここでは、市民の皆さんからいただいたご提案等の中から、施策や事業等に反映できたものを少し紹介したいと思います。

東浅川保健福祉センターでは、「ゆっくりと安心して歩ける道路を」とのご提案を受け、浅川沿いのサイクリングロードについて広報で愛称募集を行い、「浅川ゆったりロード」と決定しました。元八王子市民センターでは、「歩きたばこの対策を」とのご意見を受け、条例化の検討を始めました。また、各会場から「総合型地域スポーツクラブの創設について市の応援を」とのご提案を受け、職員を地域に派遣するなどの仕組みづくりも進めています。

なお、今回のテーマに関する「スポーツを通じた健康」や「食事を通じた健康」など、健康に関する様々なご提案の他にも、道路整備や緑の保全などまちづくりに関するご提案も多数いただきました。市では、いただいた皆様のご提案等を真摯に受け止め、今後の施策への反映に努めていきます。

今後も、市民の皆さんと一緒にまちづくりを考える“タウンミーティング「市長と語る」”を積極的に展開しながら、地域の中で多くの市民の皆さんと交流し、ご意見等いただきたいと考えています。お近くの会場で開催した際には、ぜひご参加いただければ幸いです。